アイガモロボ現地検討会

５月 30 日（火)、令和５年度いばらき農業アカデミー有機農業講座にてアイガモロボ現地検討会が開催され、生産者、関係機関合わせて 83 名が参加しました。

アイガモロボは、水稲の有機栽培に活用できる、水田を自走する自動抑草ロボットです。田面水と土壌表層を撹拌することで雑草を抑制し、収量の確保や機械除草作業の削減による省力化が期待されます。

はじめに、普及センターからアイガモロボ導入効果や深水管理について説明しました。アイガモロボ導入により、従来より機械除草作業を１～２回削減することが出来ました。

次に(有)アグリ山﨑の山﨑氏から、有機農業に取り組んできて自身が苦労した点やアイガモロボ導入の良い点などのお話をいただきました。

その後、アイガモロボ実演ほ場に移動し、井関農機株式会社からロボットの特徴、使用上のポイント、抑草の仕組みなどについて、県関係機関からスマート農業・有機農業に関する取り組みについての情報提供をいただきました。参加者からは活発に質問が挙がり、関心の高さがうかがえました。

普及センターでは、引き続き有機農業に取り組む生産者の支援をしていきます。

令和５年度６月５日　坂東地域農業改良普及センター　山本（成長産業）